

万代島ルート線

五十嵐「時代おくれの大型開発は中止を」



新潟バイパス紫竹山インターから寄居町の日本銀行新潟支店まで5.6キロメートル、紫竹山インターから東堀手前までは高架道路でつなぐ1500億円の大事業の万代島ルート線。

五十嵐市議は、これが計画された20年前の平成4年の都市計画審議会議事録を調べ、当時この必要性について「万代橋は一日の交通容量44,000台に対して約68,000台の交通量があり、万代橋の交通負荷を軽減できる橋梁の整備が必要」とし、また紫竹山からの栗の木バイパスの「増加する交通に対応した整備が必要」としていたことを明らかにし、「以来20年の時が過ぎ、みなとトンネルと柳都大橋の開通、交通量の減少で万代橋の交通量はすでに31,000台となり、栗の木バイパスの交通量も減少していることからすでにこの事業の主要な目的は達成されており、万代島ルート線高架事業は中止すべき」とせまりました。

答弁は「BRTなど公共交通の走行環境の改善」など従来のものであり、五十嵐市議が「BRTの導入予定が平成26年と2年後に対して、万代島ルート線の完成は予定もたたないものであり、理由になんかならない」と詰め寄ると、事実上の答弁不能となりました。

A	= 「栗の木道路」	H19年事業化	事業費	230億円
B	= 「紫竹山道路」	H23年事業化	事業費	194億円
C	= 「万代島下流橋事業」	H5年事業化	事業費	570億円

※ **A**と**B**の部分は完成まで「5～10年」
 斜線部分は未着手

2011年6月議会から2012年2月議会までの取り上げた質問項目

2011年6月	2011年9月	2011年12月	2012年2月
<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 福島原発事故を教訓にした原発対策等 ㊧ 新潟駅連続立体交差事業について ㊨ 船江町土砂処分場問題 ㊩ 下山小学校改築問題 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 万代島ルート線について ㊧ 水と土の芸術祭について ㊨ 新潟市の産業政策について ㊩ 入札問題等について 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 新潟州構想について ㊧ 土砂処分場計画について ㊨ 万代島ルート線について 	<p style="text-align: center;">一問一答形式</p> <ul style="list-style-type: none"> ㊦ 公契約適正化について ㊧ 柏崎刈羽原発問題等について